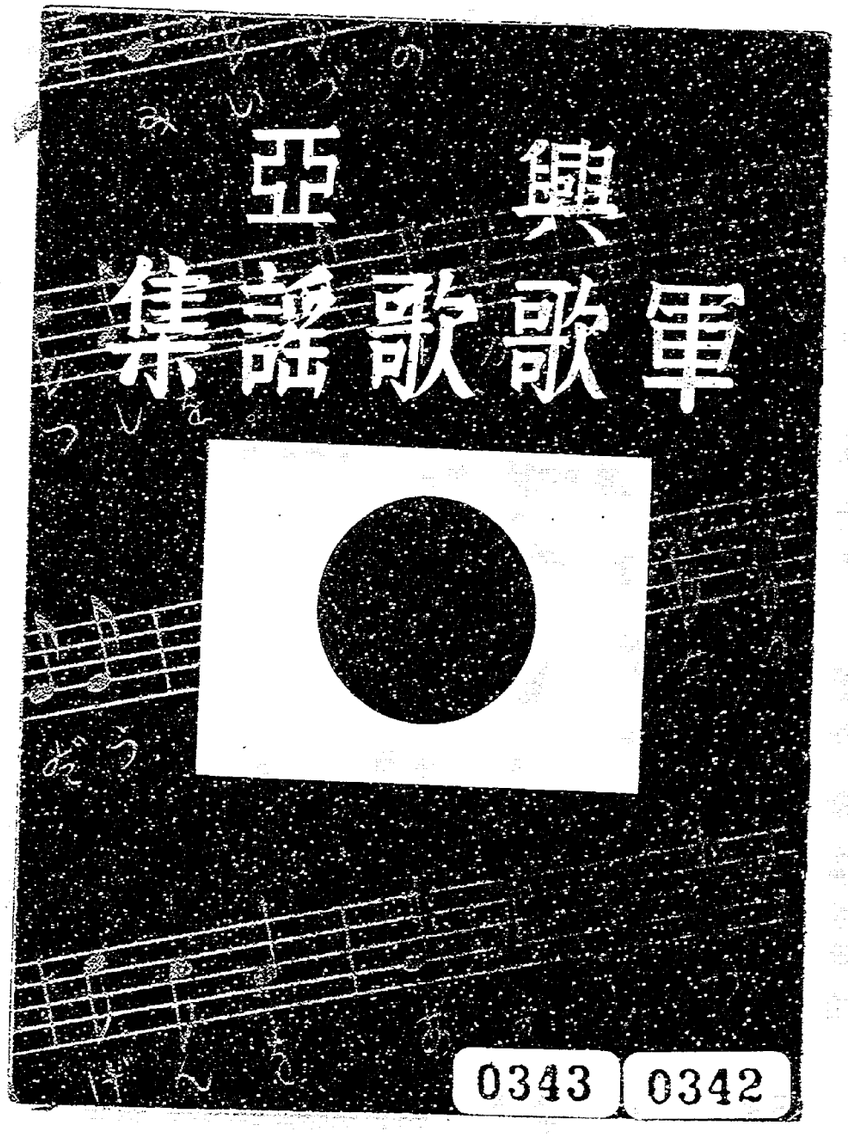
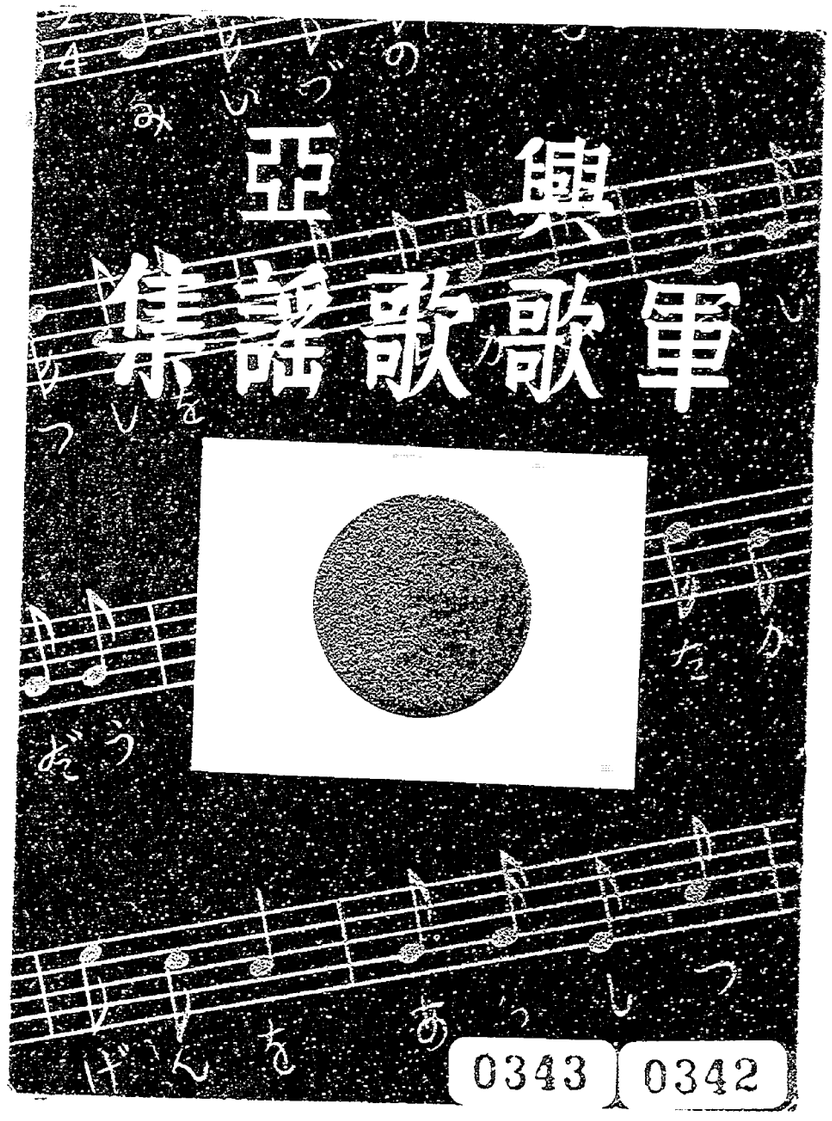
亞興
軍歌歌謡集



0343 0342

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

亞興
軍歌歌謡集

本書は恤兵金を以て製作頒布するものなり

0344

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

序

歌は時代の表現であり、感激の源泉である。かの軟弱卑猥な歌は既に過去の物である。現代の吾等は勇壮、豪快、清新、明朗な歌曲を歌はう。そして興亞聖戰、東亞新秩序建設の意氣を力强く叫ばう。

之が爲に軍は堀内敬三、高橋掬太郎、勝承夫、阿部武雄の四氏を招き慶く北支、蒙疆の全線を視察し親しく皇軍將兵、居留邦人、中華蒙疆の人士に接して現地の異の姿を認識せしめた。その結晶が卽ち此の小冊子である。諸君希はくば之を衣嚢に納めて常に愛唱せられよ。

昭和十四年秋

0345

目次

北支派遣軍の歌……一
興亞行進曲……三
戰線將兵感謝の歌……五
北支建設の歌……七
兵を思へ……九
亞細亞の子供……一一
同（華語）……一三
輝く蒙疆……一五
鐵道警備の歌……一七
鐵路は拓く……一九
戰友よさらば……二一
新東亞建設の歌……二三
端唄……二五
都々逸……二六
大陸ぶし……二七
興亞音頭……二九

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

北支派遣軍の歌

堀内敬三 作曲

♩＝114

みいづの もとに ますらを が
いつしを ちかふ みいくさの
だうだう すすむ はたかぜに
るはちゆう げんを あつしつつ
げんたり ぼくしはけんぐん

0346

北支派遣軍の歌

堀内敬三 作詞

一

稜威のもとに　ますらをが
一死を誓ふ　みいくさの
堂々進む　旗風に
威は中原を　壓しつゝ
殿たり　北支派遣軍

二

長城萬里　堅むとも
黄河の流　亂すとも
猛追やまぬ　陸と空
東西四方に　頑敵を
撃破す　北支派遣軍

三

嶮峻屑す　討伐に
晝夜を舍かぬ　警戒に
艱苦を忘れ　身をすてて
忠誠結ぶ　一團の
炎ぞ　北支派遣軍

四

非道に民を　虐げて
抗日叫ぶ　賊黨の
破壊のあとに　打ち建つる
新の秩序　かぐはしき
道あり　北支派遣軍

五

妖雲くらく　鎖したる
萬里の空も　今明けて
天日のもと　民草が
歡呼し仰ぐ　其の威容
燦たり　北支派遣軍

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

東亞新報社懸賞當選歌

興亞驀進曲

梅田 儉 作詞

一

亞細亞の朝だ　湧く雲に
光は呼ぶぞ　風に鳴る
大聖恩の　旗の下
息吹き新たに　盛りあげて
拳れ興亞の　驀進だ

二

廣漠千里　聖戰の
血潮は築く　新秩序
山野に海に　大空に
武勳輝く　皇軍の
大進軍だ　勝鬨だ

三

戰時體制　揺ぎなく
火華をあげて　烈々と
銃後の野良に　工場に
玉なす汗を　沸らせて
うち振る鍬だ　鐵槌だ

四

興亞をめざす　日滿華
今こそ固く　手を執つて
老獪の敵　うち碎き
進め東洋　民族の
大地も搖く　行進だ

五

ああ大亞細亞　建設に
さうだ銃後も　前線も
打つて一丸　一億の
民の心よ　火と燃えて
勢へ興亞の　黎明だ

興亞驀進曲

堀内敬三 作曲

♩ = 112

あしあの　あさだわくくもに　ひかりはよぶぞ　かせになる　だいせいおんの　はたのもとい　きあらたにもりあけて　こぞれこうあのばくしんだ

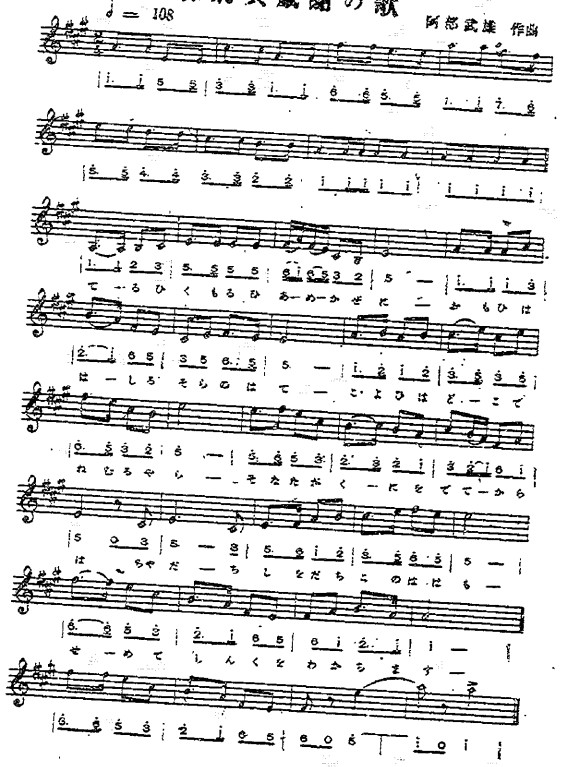
0347

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

戰線將兵感謝の歌

阿部武雄 作曲

♩ = 108



東亞新報社懸賞當選歌

戰線將兵感謝の歌

西川好次郎 作詞

一

照る日曇る日　雨風に
思ひは走る　空のはて
今宵はどこで　眠るやら
そなたが故郷を　出てからは
茶斷ち鹽斷ち　この母も
せめて辛苦を　分ちます

二

日露の昔　思ひ出し
暑さ　寒さの　物語り
けれど　進んだ　此の戰
さぞや　苦心を　するだらう
野良に立つても　寢てゐても
父は心で　手を合はす
坊やを背負つて　五里の道
歩いて行つて　見たニュース
どこかあなたに　似た勇士

三

若しやと思つた　この眼から
どつと涙が　落ちました
思はず胸が　こみあげて
胸のすくよな　あの手紙
學校で見せると　先生は
みんな集めて　讀みました
そしてみんなで　西の空
ありがんで　萬歲いひました

四

兄さん兄さん　ありがたう
一億の民　私等
みんな心は　同じです
長の月日を　戰線で
命を的の　はたらき
日毎　感謝に　むせびます
兵隊さんよ　ありがたう

0348

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

北支建設の歌

勝承夫 作詞

一

朝風今ぞ　吹き渡る
長城はるかに　萬里の天地
眠れる大地は　雄々しく目覺めぬ
我等は榮えある　歴史を創らむ
起てよ　建設の使命　われにあり

二

興亡の夢　四千年
民族墓無く　田園荒れぬ
英雄いづこぞ　今ここそ起つとき
我等と築かむ　東亞の樂土を
來れ　建設の希望　あふれたり

三

迷蒙の巷　敎へんと
流せし血潮を　何ぞ忘れむ
たふとき犧牲を　捧げし大陸
我等もつゞかむ　先驅の勳功に
進め　建設の猛けき　矛となれ

四

民族睦み　住むところ
明朗北支の　天地はひろし
埋もれし　惠與を　山野にたづねて
我等は拓かむ　東亞の富源を
競へ　建設の強き　鉄となれ

五

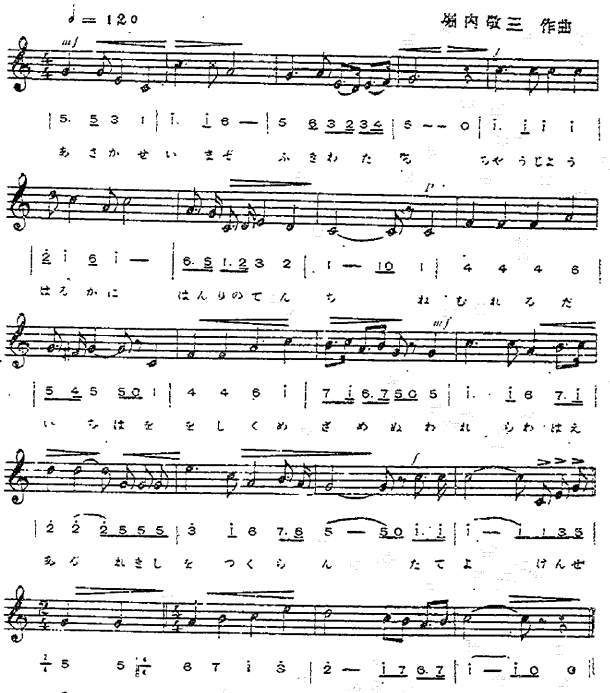
五色に輝く　旗の下
羊群のどかに　春日かへる
そびゆる高樓　色冴えわたりて
我等の北支に　平和は生れぬ
見よや　建設の理想　かゞやけり

六

自主獨往の　意氣高く
世界に示さん　文化の誇り
亞細亞の力を　自から知るとき
我等の行手は　遮ぎるものなし
示せ　建設の偉業　なし遂げよ

北支建設の歌

♩= 120　　堀内敬三 作曲



0349

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

兵を思へ

高橋掬太郎 作詞

一

岩に枕し　草に寢て
山また山を　何百里
矢彈の雨に　晒されつ
進み進みし　つはものを
思へ　銃後の　同胞よ。

二

馬も倒れる　炎熱に
咽喉は乾けど　水はなし
流れる汗を　啜りつつ
戰ひ拔きし　つはものを
思へ　銃後の　同胞よ

三

銃も凍れば　身も凍る
雪の荒野に　國境に
祖國のためと　微笑みて
守りかたむる　つはものを
思へ　銃後の　同胞よ。

四

敵は增せども　彈丸はなし
糧秣遂に　つきたれば
犬を喰ひて　死守せむと

五

城壁に記せし　つはものを
思へ　銃後の　同胞よ
猛ける心を　鐵舟に
托して越えし　大黃河
文なす蘆狹　忠勇の
血汐で染めし　つはものを
思へ　銃後の　同胞よ

六

命稀ぐと　國を出て
草むすかばね　戰友が
墓標
涙でたてし　
永久に絲らぬ　つはものを
思へ　銃後の　同胞よ

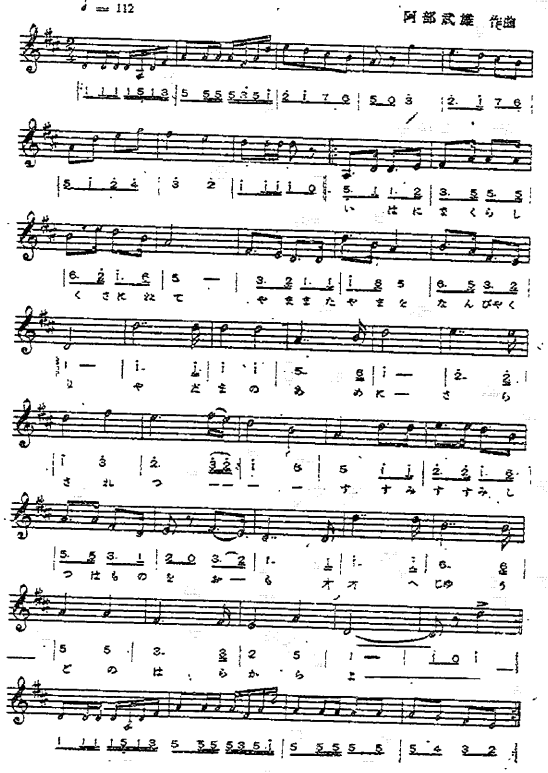
七

警備　建設　黎明の
東亞を擔ふ　長期戰
故郷を遠く　離れ來て
辛苦をつくす　つはものを
思へ　銃後の　同胞よ

兵を思へ

♩ = 112

阿部武雄 作曲



0350

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

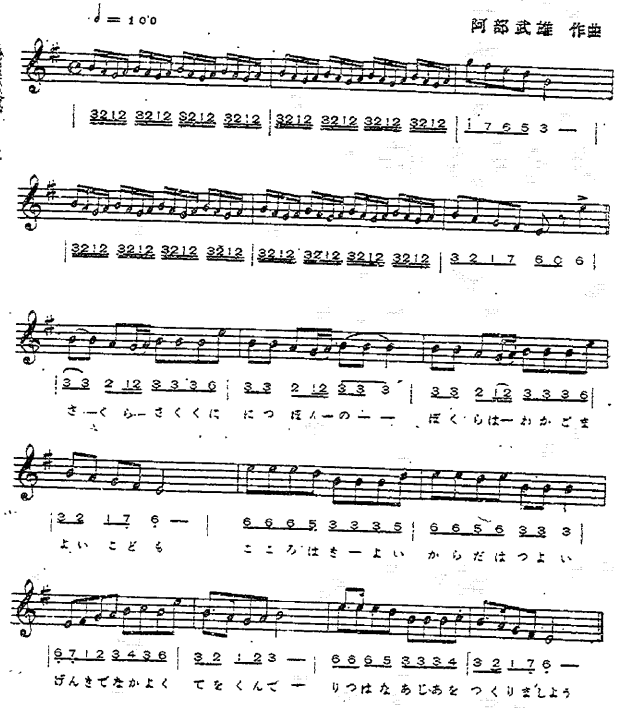
アジアの子供

高橋掬太郎 作詞

亞細亞の子供

阿部武雄 作曲

♩= 100



0351

一

櫻咲く國　日本の
僕等は若駒　よい子供
心は清い　身體はつよい
元氣で仲よく手をくんで
立派なアジアを作りませう

二

古い中華の　新しい
僕等は蕾だ　よい子供
心は清い　身體はつよい
元氣で仲よく手をくんで
僕等のアジアに盡しませう

三

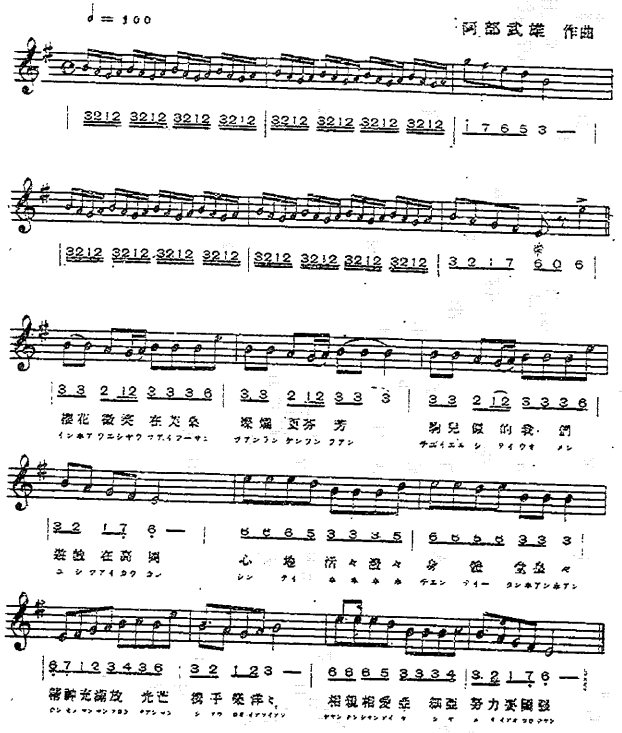
蘭の花蔭　滿洲の
僕等は雛鳥　よい子供
心は清い　身體はつよい
元氣で仲よく手をくんで
樂しいアジアを築きませう

四

廣い蒙古の空の下
僕等は小羊　よい子供
心は清い　身體はつよい
元氣で仲よく手をくんで
皆のアジアを守りませう

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

亞細亞的小天使



0352

亞細亞的小天使

劉雁聲 華譯

一、

櫻花微笑 在芙桑燦 爛更芬芳。
駒兒似的我們。遊戲在高岡。
心地活々潑々。身體堂皇々。
精神充滿放光芒。
携手樂洋々。相親相愛亞細亞。

二、

含苞未放的我們。美麗更芬芳。
新建。中華是樂鄉。古老且綿長。
心地活々潑々。身體堂皇々。
精神充滿放光芒。
携手樂洋々。同文。同種亞細亞。我們要爭光。

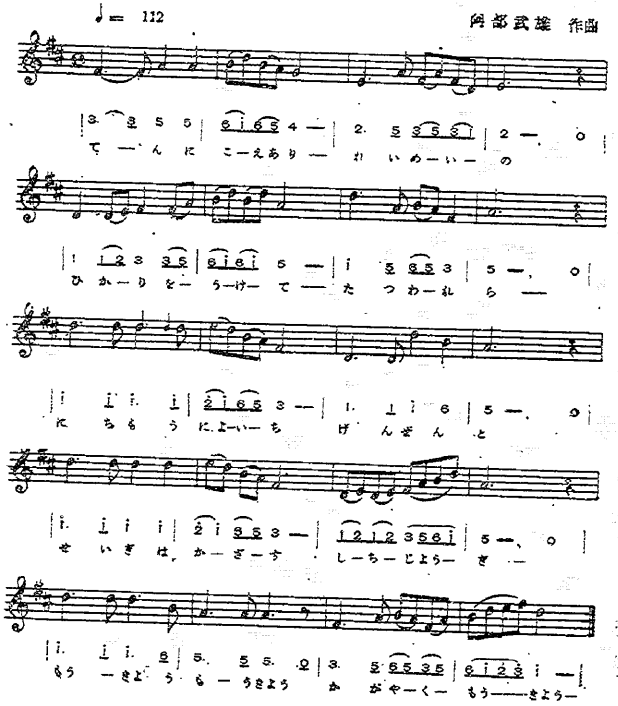
三、

芝蘭搖曳滿洲香 黑山白水光。
鵝兒似的我們。悠遊在康莊。
心地活々潑々。身體堂皇々。
精神充滿光芒。
携手樂洋々。喜氣無邊亞細亞
建築在東方。
平沙無限大蒙疆 天空照
太陽。
小綿羊似的我們。玩要在
廣場。
心地活々潑々。身體堂皇々。
精神充滿放光芒。
携手樂洋々。大家保護亞細
亞。吐氣把眉揚。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

輝く蒙疆

♩= 112　　阿部武雄 作曲



0353

輝く蒙疆

高橋掬太郎 作詞

一

天に聲あり　黎明の
光をうけて　起つ我等
日蒙如一　毅然と
正義はかざす　七條旗
蒙疆　蒙疆　明けゆく蒙疆

二

古き歴史に　建設の
柱はたてり　新しく
共黨剿除　悠久の
誓約に組まん　鐵の腕
蒙疆　蒙疆　伸びゆく蒙疆

三

あげよ雄叫び　躍進の
靴音高く　踏むところ
民生向上　燦然と
無限の寶庫　いま拓く
蒙疆　蒙疆　榮ゆく蒙疆

四

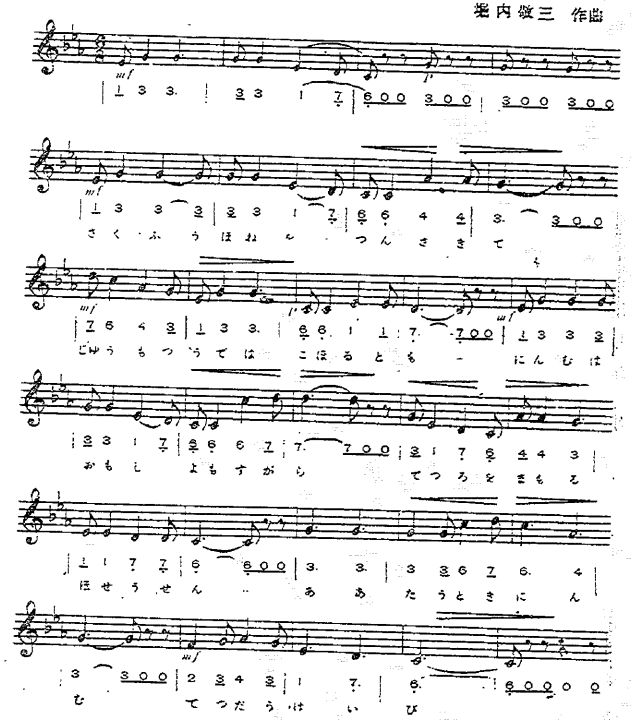
仰げ青空　王道の
歡喜は燃えて陽の如く
民族協和　新生の
東亜に興る　自治の歌
蒙疆　蒙疆　輝く蒙疆

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

鐵道警備の歌

♩.＝96

巻内敬三 作曲



0354

鐵道警備の歌

勝承夫 作詞

一

朔風骨を つんざきて
銃持つ腕は 凍るとも
任務は重し 夜もすがら
鐵路を守る 歩哨線
あゝ尊き任務 鐵道警備

二

野犬の吠ゆる 夜は更けて
夜襲の敵か 風の音か
闇間に起る 物音に
銃とり直す 星明り
あゝ尊き任務 鐵道警備

三

闇に火を吐く 機關車の
音安らかに 近づけば
心こせざる 或敵こ

四

勇士の眼 涙あり
あゝ尊き任務 鐵道警備
夜は歩哨に 寝もやらず
明くればつゝく 討匪行
鐵路の守り 安かれと
心をくだき 身をくだく
あゝ尊き任務 鐵道警備

五

殘敵何の おそるべき
命をかけて 守りたる
鐵路は安し 大陸に
平和の春は 近づけり
あゝ尊き任務 鐵道警備

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

鐵路は拓く

♩＝115

阿部武雄 作曲

かうやをよぎりやまをぬき　てつろは
ひらく　いくせんり　わがひのまるの
たつところ　わへいのひかりさんとて
そ

鐵路は拓く

高橋掬太郎 作詞

一

曠野をよぎり　山を抜き
鐵路は拓く　幾千里
わが日の丸の　立つところ
和平の光　燦と輝る

二

日華は結ぶ　兄弟の
誓約は固し　新秩序
無限の力　凝るところ
久遠の歡喜　花ひらく

三

地雷の火華　散らば散れ
敢然進む　我が車輪
世紀の血潮　鳴るところ
迷夢はさめて　雲消し

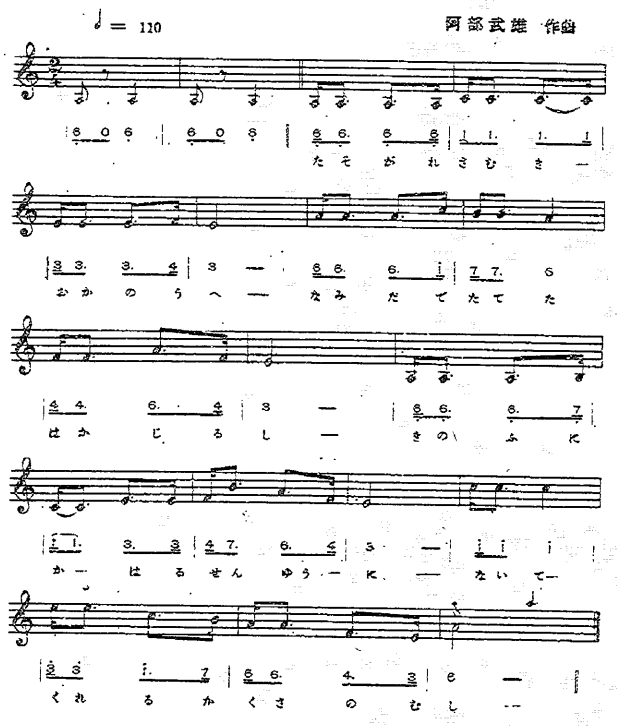
四

黄河を渡り　沙河を越え
興亞の礎石　敢然と
軍民一致　行くところ
莞爾と笑まん　新天地

0355

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

戰友よさらば



戰友よさらば

高橋掬太郎 作詞

一

たそがれ寒き　丘の上
涙ぞたてた　墓標
昨日にかはる　戰友に
啼いてくれるか　草の虫

二

故郷を出たも　一緒なら
部隊もおなじ　明暮に
兄貴と呼べば　弟と
はげまし合ふた　二年間

三

我が隊一の　豪傑も
鐵石ならぬ　身はかなし
形身に殘る　軍刀の
刄こぼれ　みれば
泣けてくる

四

今宵は此處に　露營して
明日また遠く　敵を追ひ
荒野の果を　進み行く
この身ぞ　さらば　戰友よ

五

あらしに打たれ　雨に濡れ
墓標の文字は　消ゆるとも
英靈よ　ながく　北支那の
山野を守れ　祖國のため

0356

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

新東亞建設の歌

高橋掬太郎 作詞

一
雲うち破る　あかつきの
光の劍　君見ずや
聖戰ありて　王道の
アジアは成りぬ今こゝに

二
萬里の山河　ふるはせし
砲火の響　絶ゆる時
忽ち興る　建設の
正しき力　その息吹

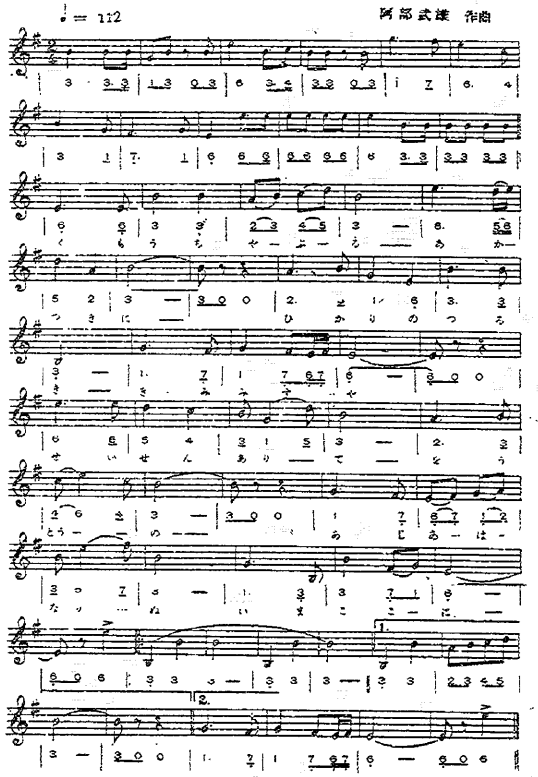
三
興亞の友よ　手をとりて
いざ打ち建てん　わが樂土
炎と燃ゆる　熱血に
今こそ結ぶ　五民族

四
試練の嵐　吹かば吹け
ゆるがぬ精神　この馨ひ
荒土を拓き　富を增し
和平はつきず　新秩序

五
威の旗の　下にして
かくてぞ築く　大アジア
五億の民よ　いざ謳へ
久遠の凱歌　高らかに

新東亞建設の歌

♩= 112　　阿部武雄 作曲



0357

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

端唄

水を差さうが

水を差さうが　邪魔立てしようが
かたい覺悟の　新秩序
嘘でかためた　仲ぢやない
どこへ行く

どこへ行かうと　日の丸の
み旗の下に　敵はなく
ならぶ笑顔の　支那蒙古
沙漠の果も　春風に
大和櫻が　咲くわいな
雨と降る

雨と降る　矢彈の數は　恐れねど
捨てる覺悟の　命でも
むだに散らしちや　大君にすまぬ
かぶり直した　鐵かぶと

都々逸

面白半分　來られちや　こまる
血潮で　かためた　新秩序

どちら　向いても　軍民一致
意氣に　興亞の　花が咲く

うかと　云ふまい　わたしの心
壁に　スパイの　耳がある

支那と　日本は　兄弟同士
顔も　似てゐりや　氣も一つ

人に　賴まぬ　東亞のことは
東亞で　まとめる　新秩序

はいで　やりましよ　日本刀で

目に青葉　高橋掬太郎作詞　小唄藤兵衛作曲　藤間勘八郎振付

目に青葉　山時鳥　血に染みて
捨てた命が　あればこそ
うれし興亞の　初鰹
飲めば酔ふ

飲めば酔ふ
酔はねば云へぬ　胸のうち
酔ふはよい
よいよい　仲ぢやとて
うかと云ふまい　軍のこと
きのふ京漢

昨日京漢　今日石太線
明日は同濟と　火車は行く
支那に名所は　數あるけれど
忘れしやんすな　戰あと

高橋掬太郎　作詞

赤い狐の　化の皮
みんな　來てみて
仲よく　しやんせ

匪賊ばかりの　支那じやない
星の　かずほど　スパイが　覗く
うかと　逢はれぬ　月あかり

語り　合ひましよ
仲よく　しましよ

どこも　人情は　おなじこと
つよい　日本は　東亞の柱
支那も　滿洲も　蔭による

0358

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

大陸ぶし

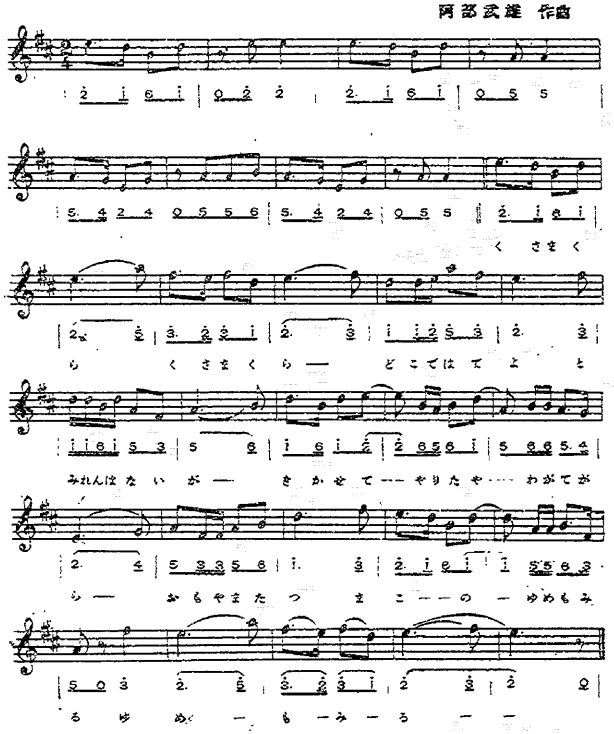
高橋掬太郎作詞
藤間勘八郎振付

〜草枕　草枕
どこで果てよと未練はないが
きかせてやりたい　わが手柄
思や　マタ　妻子の
夢もみる　夢もみる
〜夢の間も　夢の間も
案じしやんすな故郷のことを
わたしも勇士の妻ぢやもの
守る　マタ　心に
隙はない　隙はない
〜昨日まで　昨日まで
敵がかためた　塹壕の中で
今宵は　月下の髭くらべ

髭の　マタ　中から
月を見る　月をみる
〜つはものが　つはものが
かばね晒した　大陸千里
仇には踏むまい　建設の
意氣で　マタ　植ゑましよ
花の苗　花の苗
〜日本の　日本の
土が戀しい　曠野の果で
慰問に屆いた　下駄はいて
ちよいと　マタ　散歩と
高笑ひ　高笑ひ

大陸ぶし

阿部武雄 作曲

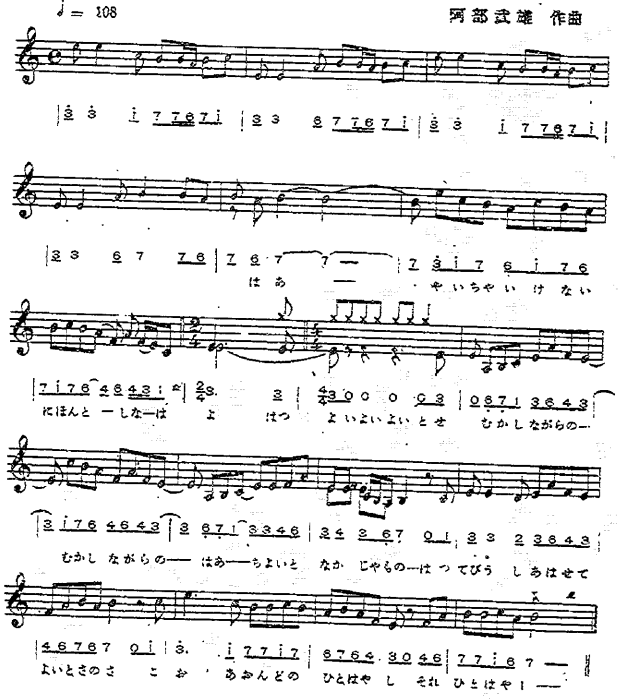


0359

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

興亞音頭

♩= 108　　阿部武雄 作曲



興亞音頭

高橋掬太郎作詞
藤間勘八郎振付

〈ハア　始いちや　いけない
日本と支那は　ヨー
ハア　ヨイ　ノヽ　ノヽトセ
昔ながらの　昔ながらの
ハア　チヨイト　仲ぢやもの
手拍子合せて　ヨイトサノセ
興亞音頭の一囃し　ソレ一囃し

〈ハア　幹は　ニッポン
枝葉がのびて　ヨー
ハア　ヨイ　ノヽ　ノヽトセ
支那も滿洲も　支那も滿洲も
ハア　チヨイト　花が咲く
手拍子合せて　ヨイトサノセ
興亞音頭の一囃し　ソレ一囃し

〈ハア　世帶　持つなら
大陸ぐらし　ヨー
ハア　ヨイ　ノヽ　ノヽトセ
土地も廣けりや　土地も廣けりや

〈ハア　氣も廣い
手拍子合せて　ヨイトサノセ
興亞音頭の一囃し　ソレ一囃し

〈ハア　支那の　楊柳に
日本のさくら　ヨー
ハア　ヨイ　ノヽ　ノヽトセ
咲かす私の　咲かす私の
ハア　チヨイト　心意氣
手拍子合せて　ヨイトサノセ
興亞音頭の一囃し　ソレ一囃し

〈ハア　見せて　やりましよ
世界の人に　ヨー
ハア　ヨイ　ノヽ　ノヽトセ
花のアジアの　花のアジアの
ハア　チヨイト　新秩序
手拍子合せて　ヨイトサノセ
興亞音頭の一囃　ソレ一囃し

0360

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

昭和十四年十一月

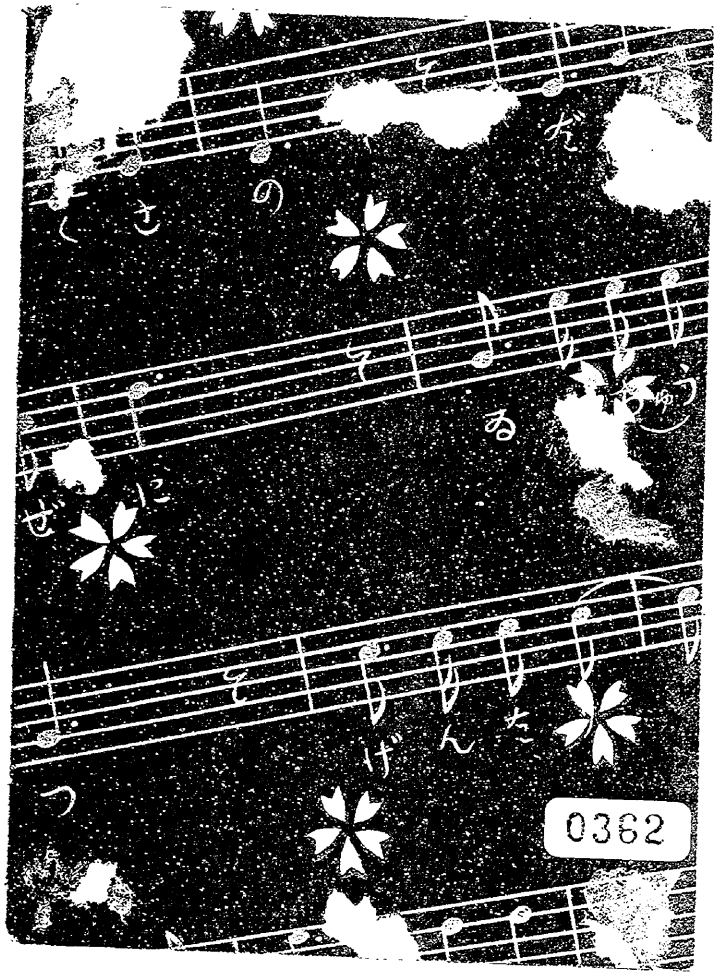
非賣品

編輯　北支軍報道部

印刷　新民印書館

0361

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp



国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp